

日照

日向から、1日1~2時間しか日の当たらない半日陰まで、場所を選ばずよく育ちますが、盛夏は直射日光や西日を避けた落葉樹の下や、建物の東側などが無難です。

水やり

湿りぎみに保つことがポイント。土の表面が乾いたらたっぷり水を与えましょう。

土

水はけがよく、かつ保水力のある土壌を好みます。地植えの場合、腐葉土、ピートモスなどをたっぷり混ぜて土壌の通気性をよくしておきましょう。鉢植えの場合は、赤玉土7、腐葉土3の割合で混ぜたものが最適です。

肥料

地植えの場合、植えつけ時に緩効性の化成肥料を元肥として与えるほか、2月ごろ、株の周囲に深さ5~10cmの穴を掘り、油かす、骨粉、牛ふんなどの緩効性有機質肥料を施します。また、花後には開花による株の消耗をおぎなうため、速効性の化成肥料を与えましょう。鉢植えの場合は、元肥として緩効性化成肥料を与え、その後は追肥として月2~3回液肥を施しますが、多肥にならないよう注意することが大切です。

植えかえ

丈夫に育っていれば、とくに植えかえる必要はありませんが、病気などで傷んだ株は周囲の土をいったん取り除き、新しい土に植え

紫色の花を咲かせるアジュガ



青紫色に染まるアユガ・レプタンス

かえましょう。また、鉢植えの場合は、根が回ったらひとまわり大きな鉢に植えかえます。ともに10~11月ごろ行いましょう。

購入アドバイス

春や秋にビニールポットに植えられた苗が園芸店に出まわります。葉が密につき、緑が濃く、茎も根元もしっかりとしたものを選びましょう。

殖やし方

実生でも殖やせますが、株分けのほうが容易です。適期は10~11月。地面を這って伸びている茎は節ごとに地面に根をおろしていますが、先端から2~3節つけて切り取り、地植えの場合は20~30cm間隔で植えつけ、鉢植えの場合は4~5号鉢に1本植えを目安にします。



花穂がピラミッド状でワインレッドの花をつけるアユガ・ピラミダリス

作業	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日照							日向~半日陰						
水やり							ふつう						
肥料													
植えかえ													

病気対策と害虫防止

- 5~9月にかけて、水はけが悪く高温多湿になったときは立ち枯れ病に要注意。土中の病原菌に感染して枯れてしまう病気ですが、今のところ治療に効果的な薬剤はなく、被害株を抜き取り焼却することで対処します。
- 春や秋に発生しやすいのが灰色カビ病です。病気が進むにつれ、灰色のカビで株が覆われ枯れてしまうので、症状があらわれたら早めにチオファネートメチル剤、ベンゾニル剤などを散布しましょう。
- 春から秋にかけて多発するハダニは、吸汁して株を弱らせてしまうので、こまめにチェックすることが大切。見つけたらマシン油乳剤などを散布して駆除しましょう。
- 春や秋にアブラムシがつくことがあるので、発見次第オルトランなどの殺虫剤を散布して駆除します。